

事案名	鹿屋市の事案（鹿児島県462）
分類	発見・被災・掃海等処理 廃棄・遺棄 現在の状況
資料	・証言〔1〕 ・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査について（回答）」平成15年10月8日，平成15年9月9日〔2〕
資料内容概要	<p>鹿児島県鹿屋市の防空壕に赤・黄色・緑に色分けされた容器が30個くらいあったとの証言と、米軍により毒ガスが古江港沖に投棄されたと思うとの証言がある。</p> <p><b>発見・被災・掃海等処理情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元鹿屋海軍航空隊少年兵の証言として、「昭和20年9月末に米軍に武器を引き渡す作業をするために、鹿屋市祓川の防空壕（鹿屋航空基地用の弾薬庫として使用）に行ったところ、ある日1人が『毒ガスがある』と叫んだので近寄ってみると、壕の入り口左にあった小屋に20リットルの丸い容器（生ビールの樽に似た形状）よりも少し大きいものが30個くらい並べられていて、容器の上部には一部分に赤・黄色・緑に色分けしてあった。容器は少し汚れていたため、皆恐ろしくて小屋の中には入らなかった。軍の教育で、赤や黄色の色が付いたものは『毒ガスである』との教育を受けていたので間違いはないと思う」と記載されている〔1〕。</li> </ul> <p><b>廃棄・遺棄情報</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・元鹿屋海軍航空隊少年兵の証言として、「昭和20年10月22日に復員する時、古江港で弾薬を揚陸用舟艇に積み込んでいたのを目撃した。『毒ガス』は他の弾薬と共に米軍により古江港沖に投棄されたと思うが、搬出作業や引き渡し作業には関与していない」と記載されている〔1〕。</li> </ul> <p><b>現在の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報提供のあった防空壕は、山林に現存している壕であると判断している。壕は現在、比較的良好な状態で、付近の住民がさつまいもの出荷調整用の一時保管場所として利用している〔2〕。</li> <li>・情報提供のあった古江港は、現在の鹿屋港である。古江港の浚渫工事において爆弾等が発見された記録はない。また、古江港周辺海域において過去に漁業操業中等に爆弾等が引き</li> </ul>

	揚げられたという記録もない〔2〕。
--	-------------------